

次世代型路面電車システム LRT（Light Rail Transit）について

1

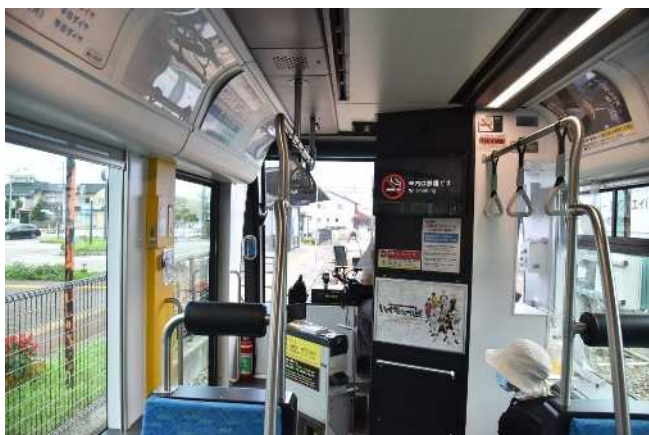
LRT（Light Rail Transit）とは

低床式車両やバリアフリー化された電停により、
さまざまな面で優れた特徴をもつ次世代の軌道系交通システム

- 快適性（騒音や振動が少ない）
- 乗降の容易性（乗降時の段差や隙間がほとんどない）
- 定時制・速達性（専用軌道の走行）
- シンボル性（景観・空間形成）

2

騒音や振動が少なく快適



3

誰にでも乗降しやすい



4

フラットな車内・バリアフリーに対応した電停



5

専用レール（軌道）による定時制・速達性



6

まちの景観



他の移動手段との連携



LRTが走るまちの一場面



横断歩道を横断して電停へ



赤信号での停車



ICカードによる乗降



前の停留場発車時の音声アナウンス 9

海外のまちを走るLRT



ボルドー（フランス）



プラハ（チェコ）



ベルリン（ドイツ）



エアフルト（ドイツ）

富山市 を走るLRT

平成18年

全国初となる本格的LRT

「富山ライトレール」開業

令和2年

路面電車南北接続事業完成

全長約15kmのLRTネットワークへ

富山駅 時刻表(平日) 岩瀬浜グランドプラザ前経由・富山大学前方面										
時	分									
5	55									
6	03	22	32	39	45	52	59			
7	06	12	15	17	20	25	29	33	36	43
8	03	06	13	16	21	27	31	34	40	43
9	01	07	12	17	24	31	34	44	47	54
10	01	04	15	17	24	31	34	44	47	54
11	01	04	15	17	24	31	34	44	47	54
12	01	04	15	17	24	31	34	44	47	54
13	01	04	15	17	24	31	34	44	47	54
14	01	04	15	17	24	31	34	44	47	54
15	01	04	15	17	24	31	34	39	44	47
16	01	04	09	15	17	24	31	34	39	44
17	01	04	09	15	17	24	31	34	44	47
18	03	05	14	17	24	33	35	44	47	54
19	05	15	17	24	31	34	44	47	54	
20	01	07	15	17	22	32	42	47	57	
21	15	17	32	47	52					
22	15	30	48							
23	07									

出典：富山市ホームページより

LRTネットワークの形成

LRTとは、低床車両の導入や軌道の低規格化、停留場のバリアフリー化など、これまでの路面電車のイメージとは大きく異なる次世代型の交通システムである。市街地では、道路上に設けられた停留場から気軽に乗降することができ、高齢者をはじめ、誰にでも使いやすい公共交通となっている。また、加減速性能の高い車両は、郊外では鉄道と同様の高速運行が可能で、都市の形態に柔軟に対応することができる。

富山市では、コンパクトなまちづくりを推進するため、富山港線踏切電車化事業や市内電車環状線化事業により全国に先駆け、LRTを整備してきた。そして路面電車南北接続事業によって、既存路面電車路線を含む富山駅を中心とした全長約15.2kmの利便性の高いLRTネットワークが完成した。



富山市 を走るLRT

運転時間 5時台～23時台

全長 約15.2km (既存路面電車路線含む全体)

最高速度 60km/h (街中では40km/hで走行)

定員 80人 (座席数 28)

運賃 大人210円 小人110円



芳賀・宇都宮LRT（令和5年3月開業目標）



出典：宇都宮市ホームページより

13

芳賀・宇都宮LRT（令和5年3月開業目標）

運転時間	6時台～23時台（ピーク時6分間隔、それ以外10分間隔）
運行区間	14.6km（普通車44分・快速37～38分）
最高速度	40km/h
定員	160人（座席数50）
運賃	大人初乗り150円～400円



愛称
ライトライン
Light LINE

出典：宇都宮市ホームページより

14